

こどもと青少年のエリアで提供する児童サービス等について

1 概要

子どもたち一人一人に寄り添った資料や対象年齢を広げたサービスの充実を図ることにより、子どもたちに本を読むきっかけを提供するとともに、学びや課題解決の支援を行う。

広島市立中央図書館等再整備基本計画「第4章3-（3）こどもと青少年のエリア（8階）【機能・サービス】」に沿って取り組む。

2 サービス内容

(1) 誰もが読書を楽しめる場の提供

ア 児童書や若者のニーズに合った図書等の提供

- (ア) 発達段階に応じた資料の収集・提供
- (イ) 調べ学習等に対応できる資料の収集・提供
- (ウ) 学習に対応できる学習参考図書等の収集・提供
- (エ) 外国語資料（児童向け）の収集・提供
- (オ) 青少年の成長を助け、課題解決に役立つ資料の収集・提供
- (カ) 図書展示の実施

イ 子どもの発達段階に応じた年齢階層別のサービス（読書支援や調べ学習支援）の提供

- (ア) 年齢階層別にエリアを設置し、全ての子どもに対して本に触れる機会を提供する。
（乳幼児向けコーナー、絵本コーナー、児童書コーナー、ヤングアダルトコーナー※1）
- (イ) 子育て世代に向けた資料や情報の提供を行い、子育ての不安や悩みに寄り添う。
（子育て支援コーナー）
- (ウ) りんごの棚※2を整備するとともに、関係機関との連携等により情報発信を行い図書館サービスの利用につなげる。
- (エ) おはなし会等の開催（年齢別、対象別）により、本の楽しさに触れる機会を創出する。
（おはなしの部屋、読み聞かせコーナー）
- (オ) 青少年の成長を助け、課題解決に役立つ資料を収集し、テーマ別配架により青少年の興味・関心を引き出す工夫を行う。
- (カ) 青少年を対象とした読書啓発（図書館通信等の発行）により、読書への興味・関心を促す。
- (キ) 学校や施設・機関、ボランティア等と連携したサービスの提供により、子どもの読書率の向上や図書館利用の促進につなげる。

※1 ヤングアダルトコーナー。青少年向け（ヤングアダルト）の図書に特化したコーナーのこと。

※2 本をそのままの状態では「読めない」「読みにくい」子どもたちのためのコーナーのこと。大活字本、点字の本、CDブック、LLブック（イラストや写真が多く、文章もわかりやすい本）など、特別なニーズのある子どもたちのための資料のほか、手話の本、バリアフリーについての本など、障害を理解するための本もある。

ウ 開架図書の配置工夫による、分かりやすく、興味を喚起する読書環境の提供

青少年の成長を助け、課題解決に役立つ資料を収集し、テーマ別配架により青少年の興味・関心を引き出す工夫を行う。(再掲)

(2) 人々が交流し、憩うことができる滞在型空間の提供

ア 個人やグループで学習ができる環境の充実

自習室やまなび・交流ルームの整備により、青少年等の学びの機会を創出する。

イ イベントなどを通じて様々な人と出会い、情報交換や交流ができる環境の提供

- (ア) 青少年向けのイベントや青少年と連携したイベントの実施により、図書館への来館を促すとともに、様々な人との交流や社会参画の場を提供する。
- (イ) プレイスペースを整備し、ボードゲーム等を活用したイベントの実施により来館のきっかけ作りを行い、読書推進へつなげていく。
- (ウ) 学校や施設・機関、ボランティア等と連携したサービスの提供により、子どもの読書率の向上や図書館利用の促進につなげる。(再掲)

ウ 幅広い世代のボランティアなどの協力によるおすすめの本の紹介や絵本の読み聞かせ、読書会等の開催

- (ア) ボランティアの活動の場を提供し、ボランティア活動を活性化する。
- (イ) 多彩なイベント等の実施により参加者の読書推進につなげる。

エ 様々な人が「居場所（サードプレイス）」と感じられる空間の提供

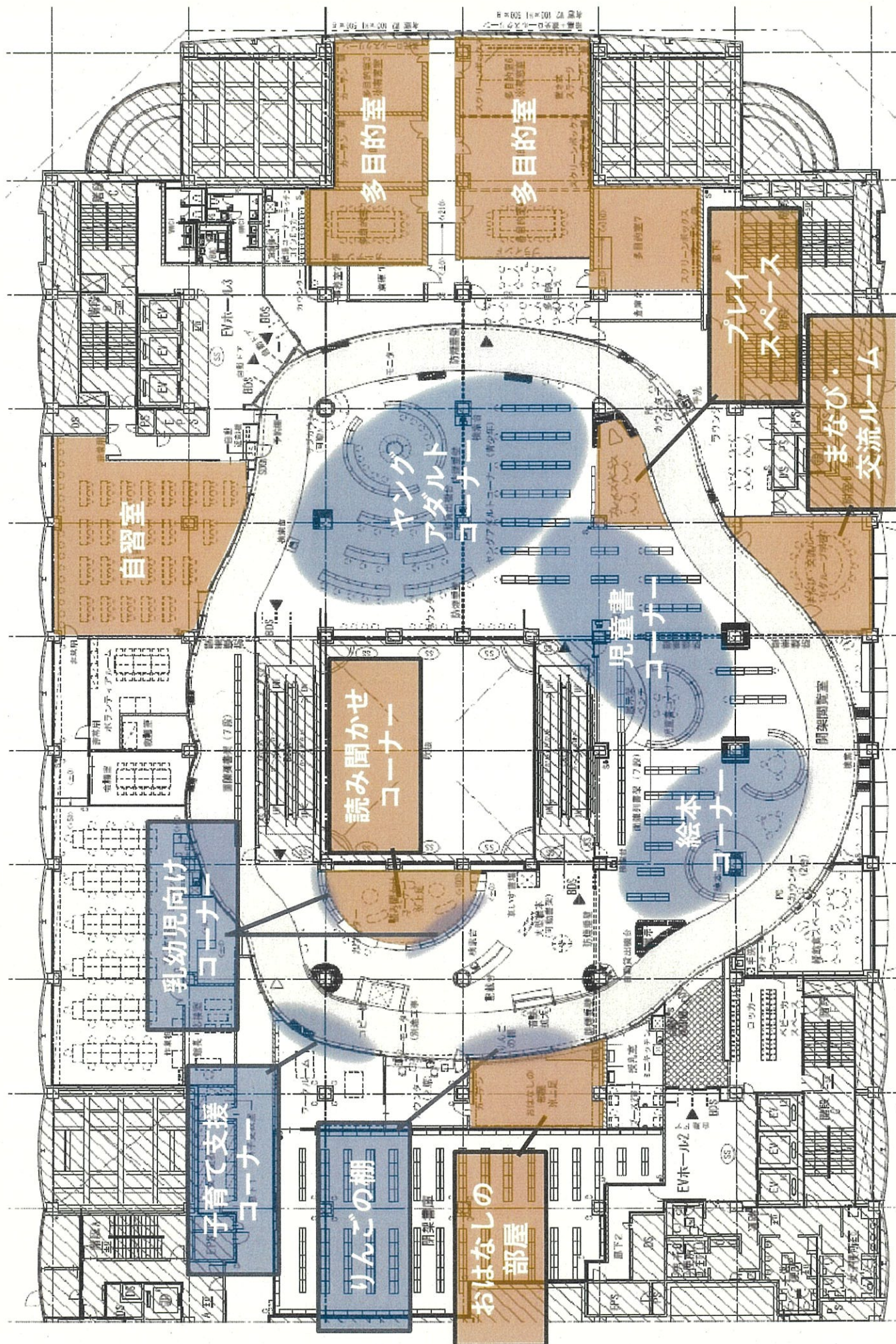
利用者層に合わせた空間づくりやサービスを提供することで、滞在型の利用を促す。

オ 館内のレイアウトや内装等の工夫による自然を感じられるなど魅力的な空間の提供

利用者層に合わせた空間づくりやサービスを提供することで、滞在型の利用を促す。(再掲)

カ 広域を対象とした青少年のための講習会、利用者同士の交流会、音楽・ダンス等子ども向け体験講座、青少年による自主的な活動及びその成果を発表する場などの提供

- (ア) 多目的室を整備し、青少年の文化・芸術活動に係る自主的な活動の場などとして提供する。
- (イ) 青少年向けのイベントや青少年と連携したイベントの実施により、図書館への来館を促すとともに、様々な人との交流や社会参画の場を提供する。(再掲)



※各コーナーの名称は変更の可能性あり